



身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

人権学習に関する 視聴覚教材を貸出しています

総合生涯学習センターでは、同和問題をはじめ児童虐待、ドメスティック・バイオレンスなど、さまざまな人権学習に関するビデオや16ミリフィルムの貸出しを無料でおこなっています。学校やPTA、企業などの団体での人権学習にお役立てください。

予約の方法

3か月先まで、電話(06-6345-5020)または来館にて予約できます。所蔵教材の目録をお配りしており、多くのリストから選ぶことができます。また、ビデオ教材・DVD教材に関しては、センター内で視聴もできますので、ご活用ください。

***インターネットでも検索できます。**

「いちょうネット(大阪市生涯学習情報提供システム)」(<http://www.manabi.city.osaka.jp/>)より、「7 視聴覚教材」を選んでください。

貸出しの方法

貸出し教材	16ミリフィルム(上映合計時間120分以内) ビデオ・DVD(3本以内)
利用期間	7泊8日
貸出し対象	原則として大阪市内の学校、PTA、地域団体、 企業等の団体、グループ。* 個人貸出しはしていません。
貸出方法	総合生涯学習センターに直接来館し、所定の利用申込書に 記入の上、利用報告書と教材を受け取ってください。 * 郵送での貸出・返却はできません。 * 貸出し手続きに証明書類などはいりません。
注意事項	* 営利的・政治的・宗教的な活動を目的とする場合は 貸出しできません。

相談・問い合わせ

総合生涯学習センターでは、教材の内容も含め、人権学習に関する相談もお受けしています。お気軽にご相談ください。

大阪市立総合生涯学習センター
〒530-0001 北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
(電話)06-6345-5020 (FAX)06-6345-5019

新着教材をご紹介します。

資料番号5658 ビデオ 26分



「内定者からの手紙」 公正な採用選考のために

採用選考を行うときには、応募者の基本的な人権を尊重し、適性と能力のみを判断基準とする公正な選考をすすめることが基本です。しかし、採用選考のメインとなる応募用紙や面接、筆記試験などには注意が行き届いても、内定後の書類提出などで人権的な配慮を欠くケースがあったり、採用選考が事業所ごとの判断に任ざられていて、公正な採用選考の意義が社内に広く浸透していない場合もあります。このビデオでは、公正な採用選考の基本となる人権尊重の意識が、採用選考のプロセスのすみずみまで、さらに会社全体まで広くいきわたることの重要性をテーマにストーリーを構成しています。

資料番号5661 ビデオ 19分



女性の人権シリーズ 「職場いじめは許さない！ —職場のモラル・ハラスメント—」

正一の職場では、部下の守が交際を断られた同僚の友美に仕事にかこつけて、いびりやいじめを行っていた。友美は正一に相談するが、人権意識に欠けた正一は、職場でよくあることだと友美の苦しみを受け止めない。やがて、友美は睡眠導入剤を大量に飲んでしまう。労務担当者から正一は、コンプライアンスへの無理解、女性への人権意識の低さを自覚させられる…。

資料番号5667 ビデオ 24分



「私の中の差別意識」 部落差別問題から考える

部落差別問題を通し、人の心の中に巣食う差別意識への気づきを促してゆきます。あからさまな部落差別は影を潜めましたが、まだまだ結婚や就職における差別などは残っているのが現状です。この作品では、ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。



おおさか歴史探訪⑤1

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

錦影絵 —庶民に大人気、アニメの原型—

10月も中旬となり秋たけなわとなりました。今月は「芸術の秋」の話題として、かつては庶民に大人気でありながら、今では知る人も少なくなった伝統芸能を紹介します。

「錦影絵」をご存知でしょうか？幻灯の一種で、江戸時代から明治・大正にかけて、庶民の娯楽として広く親しまれた伝統芸能です。「風呂」とよぶ幻灯機を手にもち、フィルムにあたる「種板」を使って、和紙でできたスクリーンに裏側から映写します。幻灯機を動かして動きのある映像をつくり、お囃子に合わせて台詞をしゃべりながら話を進めるといふもので、アニメーションの原型といわれています。

大阪では日本橋などで広く興行がおこなわれましたが、中央区淡路町にある御霊神社境内にはわが国で唯一の錦影絵の常設館である「あやめ亭」がありました。

大阪歴史博物館には「風呂」1台と「種板」820枚が所蔵されています。落語ねたが中心で、そのほかにチャンバラ劇や怪談ねたなど40を超える演目があり、大阪市の有形文化財に指定されています。

大正末期以降、活動写真が普及すると急速に姿を消すこととなりましたが、現在でもいくつかの団体により、錦影絵の伝統が守られています。11月20日(日)午後1時30分より、大阪歴史博物館で、大阪芸術大学の伝承グループによる実演があります。定員は100名で、申し込みが必要です。詳しくは大阪市教育委員会文化財保護担当(TEL:06-6208-9166)にお問い合わせ下さい。



「風呂」と「種板」(上)
「種板」を装てんしたところ(下)